



R8.5

会津農林

かわら版

第49号

目次

P1---第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催します
山火事防止広報活動の実施について

P2--新モデル地区「南青木地区」において電気柵の設置を支援しました

P3--6月は牛乳月間。一杯の牛乳から、地域の未来を応援しませんか？

P4--毎年恒例の地すべり点検を実施しています！

P5--会津坂下新規農業者紹介

P6-出荷管理状況調査を行いました

P7.8.9-特集 新宮川ダム

P10--川南小学校・ほっとハウスやすらぎ 農業体験学習（田植え）

P11.12--ふくしま県GAP認証書交付式を行いました

第1回「おいしい ふくしま いただきます！」 キャンペーンを開催します



県産農林水産物の販売促進を図り、魅力を発信するため、
令和8年7月4日（土）、道の駅あいづ 湯川・会津坂下において
第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催します。

県産農林水産物に関するアンケートにご回答いただいた方に会津産ミニトマト
をプレゼントします

皆様のお越しをお待ちしております！

詳細につきましては、今後当所ホームページに掲載予定です。

(企画部)

山火事防止広報活動の実施について



4月9日から15日までのうち延べ4日間防広報活動として、山火事予防広報用CDを県の広報車で流しながら管内を巡回するとともに、各市町村毎に1箇所、道の駅など人の集まる施設に立ち寄って来場者へチラシ等を配布する活動を実施しました。来場者からは、「自分も山菜を採りに行くときは山火事に気を付けなければならない」「最近山火事のニュースをよく聞く」などの声も聞かれました。

4月下旬には喜多方市でも大規模な山火事が発生しています。幸いけが人等の報告はなかったものの、一度発生すると、被害が甚大になってしまう恐れもあります。1月より林野火災注意報、林野火災警報の運用が始まりましたので、山林付近で火気を取り扱う場合にはこれらの情報に留意されるとともに、火の始末を特に念入りに行うようお願いします。

(森林林業部)

新モデル地区「南青木地区」において電気柵の設置を支援しました



専門家による説明の様子



電気柵設置の様子

本県では、野生鳥獣による農作物被害を低減するため、関係機関と連携して総合的な鳥獣被害対策の実証をするモデル地区を設置しています。

今年度から、新たに会津若松市門田町黒岩の南青木地区を農林事務所のモデル地区として設定し、4月5日地区住民による電気柵設置が行われました。当農業振興普及部及び会津若松市役所からも計7人が参加して支援しました。

はじめに、参加した住民に向けて専門家から電気柵設置のポイントについて説明がありました。電気柵の線を農地の外側に向けること、線の間隔を20cmで設置することなどに気を付けながら、電気柵設置をしました。木の枝を切る係、電気柵の柵線をつける係、枯れ葉などを片付ける係など、役割分担してスムーズに電気柵を設置することができました。

今後は、適切な電気柵管理がなされるよう支援していきます。

(農業振興普及部)

6月は牛乳月間。
一杯の牛乳から、地域の未来を応援しませんか？

6月1日は「世界牛乳の日」、そして6月は「牛乳月間」です。

私たちの食卓に欠かせない牛乳や乳製品。その背景には、地域で酪農を営む方々のひたむきな努力があります。

現在、酪農の現場は厳しい状況となっています。近年の異常気象や飼料価格の高止まり、担い手不足など、数々の困難に直面しながらも、酪農家の皆さんは私たちに「安全でおいしい牛乳」を届けてくれています。

牛乳はカルシウムやたんぱく質が豊富で、子どもから高齢者まで、多くの人の健康を支えてくれる心強い味方です。

この機会に、ぜひ牛乳や乳製品を手にとってみてください。私たち一人ひとりの「おいしい」という消費が地域の酪農を守り、食の未来を支える大きな力となります。みんなで地域の酪農を応援していきましょう。

(喜多方農業普及所)

毎年恒例の地すべり点検を実施しています

地すべり防止施設は、地すべりから農地や農業用施設、家屋や人命を守る重要な施設です。

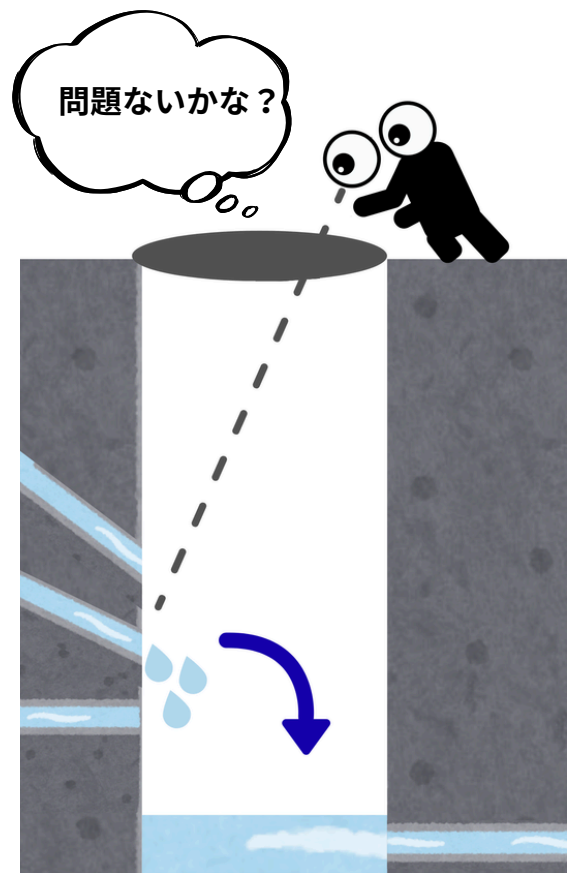
県内の農村地域には地すべり防止地区が41地区ありますが、そのうち29地区が会津管内にあります。毎年、農村整備部が主体となって点検を行っており、今年度も4月から6月にかけて点検を実施しています。昨年度は熊の出没が多かったため、熊鈴や花火などの熊対策グッズを準備して点検に励んでいます。

点検は、集水井（しょうすいせい）や横穴ボーリング工、アンカー工、土留工等が点検対象となります。中には、60年以上も前に整備された施設もあるため、点検によって破断や目詰まり、亀裂、沈下等の施設の機能に支障があるような不具合の有無を確認し、今後の補修や更新の計画に反映させるなど、施設の保全や維持管理に努めています。

周辺にお住まいの方で、もし農地のひび割れや、井戸水の濁りなどの異変を発見したときは農林事務所へご連絡ください。



集水井の確認の様子



（農村整備部）



会津坂下町新規就農者

会津坂下町の今年の新規就農者を紹介します。

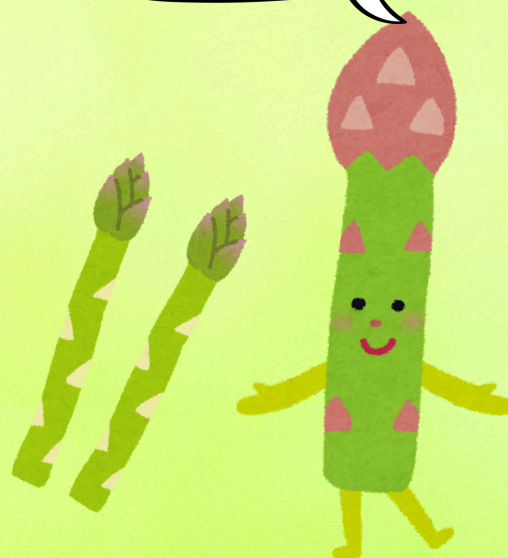
前職の建築業の仕事を辞めて就農を決意した五十嵐武了さん。喜多方市で1年間アスパラガスの研修をし、令和8年4月就農しました。「定年退職後に慌てて始めるより、以前から興味があったアスパガス栽培を今から始めてみよう。」と思い立ったことが就農を決めたきっかけでした。現在は露地で約30aのアスパガスを栽培しており、施設栽培用のハウスも建設中です。将来的には夫婦で農業に携わり、さらなる規模拡大を目指していきたいそうです。

アスパガスは定植1年目に収穫をせず株を養成し、2年目から収穫が始まり、本格的に収穫量が増えてくるのは3年目以降となります。五十嵐さんの畑のアスパガスは今年で定植2年目。「今年もアスパガスの株養成に重点を置いて管理していく。来年には収量と品質を両立し、信頼される農家になりたい。」と意気込みを語ってくれました。



新規就農者の五十嵐武了さん

とってもおいしい
会津アスパラ



(会津坂下農業普及所)

出荷管理状況調査を行いました



会津農林事務所管内においても、原発事故に伴う山菜等の出荷制限が続いておりますが、品目ごとに出荷制限市町村が異なるため、農産物直売所や小売店等を定期的に巡回して出荷管理状況の確認を行っています。

企画部と森林林業部は、4月17日と28日に会津保健福祉事務所と合同で管内一円の巡回指導を実施しました。企画部は食品表示法、森林林業部は山菜等、会津保健福祉事務所は食品衛生法に関する各取扱いについて確認を行いました。

巡回の結果、出荷制限市町村から採取された山菜等の販売は確認されませんでした。適切な産地表示等がなされていない商品が確認されたことから、その場で表示方法の改善について指導を行いました。



(企画部・森林林業部)

特集 新宮川ダム

水を守る、農をつなぐ。
新宮川ダムが支える会津の未来

会津の豊かな田園風景。その背景には、毎日の暮らしの中ではなかなか意識されない「水を守る仕事」があります。

会津美里町にある新宮川ダムは、農業用水を安定して供給し、地域の農業を支える重要な施設です。

今回は、新宮川ダムで管理業務を担当する阿部主任主査に、ダムの役割や日々の仕事、そして地域への思いについてお話を伺いました。

企画部：新宮川ダムでは、どのような仕事をされていますか？

「ダムに管理は私たちの生活にかかせない水を守る仕事です。ダム設備の点検や操作、水位や流入量の確認などを行っています。雨の量や天候によって水の動きは大きく変わるので、毎日細かく確認しています。

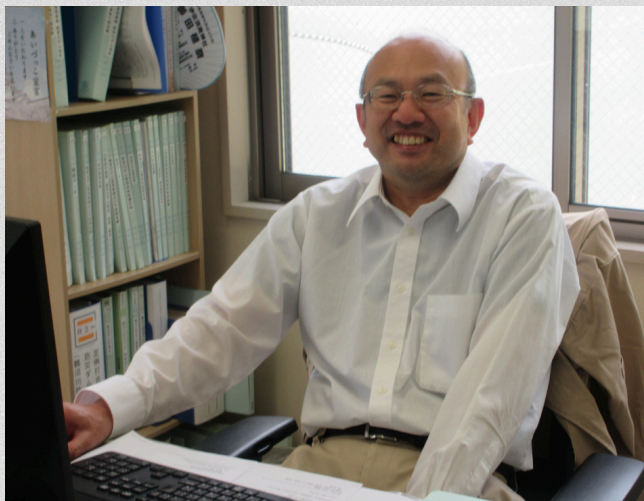
新宮川ダムは、農業用水を安定供給する“農業ダム”です。

田植えから稲の成長期まで、地域の田んぼへ必要な水を届ける役割を担っています。

特に今年は、雨が少ないため水の減り方が早い状況が続いています。

限られた貯水量を見ながら、必要な時期に必要な量を供給するため、慎重な管理が続いています。水が不足すると農作物に大きな影響がでます。

だからこそ、安定して水を届けることが大切なんです。普段は静かに見えるダムですが、その裏側では24時間体制に近い緊張感の中で管理を行っています。



お話を伺った
新宮川ダム 阿部主任主査



企画部：ダム管理で特に気を付けていることはありますか？

「近年は雨の降り方が極端です。急な大雨もありますし、逆に雨が少ない年もあります。常に先を考えながら対応しています。ダムは水を貯めるだけでなく、大雨時には下流への急激な増水を抑える役割もあります。大雨も渇水も、備えることが大切なのです。自然相手の仕事だからこそ、経験だけでなく、日々のデータ確認や判断力が欠かせません。

また、設備点検や巡回では、山間部ならではの苦労もあります。冬は雪も多いですし、点検も簡単ではありません。でも、地域の農業を支えているという実感があります。」



企画部：この仕事の魅力を教えてください。

「自分たちの仕事が、地域の農業や暮らしにつながっていることですね。田んぼに水が届いて、作物が育っているのを見るとやりがいを感じます。近年は農業人口の減少や高齢化が進む一方で、会津地域では新しく農業に挑戦する若い世代も少しずつ増えています。その農業を支えているのが、水路や頭首工、そしてダムなどの農業水利施設です。

目立つ仕事ではありませんが、地域に欠かせないインフラとして、多くの人の暮らしを支えています。水は無限ではありません。今年は特に節水への協力をお願いしたいです。地域全体で水を大切に使用いただければと思います。

田んぼの畔からの漏水対策や、かけ流しを控えることなど、一人ひとりの小さな取り組みが、安定した農業用水の確保につながります。

未来へ豊かな水をつないでいくために、若い世代の方にも地域を支える仕事であることを知ってほしいです。」

最後に農業者の皆様にお願ひがあります

今年は例年よりも早いペースでダムの貯水量が減少しています。

農業用水を安定的に供給するため、地域の皆さまには節水へのご理解とご協力をお願いいたします。

- ・水のかけ流しを控える
- ・適切な水管理を行う
- ・地域で声を掛け合いながら節水に取り組む

限りある水を、みんなで未来へつないでいきましょう。

今回の取材を通じて、ダム現場で働く皆さんの、誇りと責任を感じました。



～おまけコーナー～

新宮川ダムのキャラクター「はかせくん」です。

「はかせ」は近隣する博士山に由来します。

博士山に生息する天然記念物イヌワシをモチーフにしています。

ダム建設工事にあたって生息環境に極力影響を与えないよう配慮をしながら進められました。また、同じく天然記念物「クマタカ」の名前由来のボート「くまたか丸」でダムの巡回を行っています。



はかせくん



巡回用ボート
くまたか丸

(企画部)

農業体験学習（田植え）

令和8年5月14日（木）青空のもと会津若松市立川南小学校5・6年生と障がい者支援施設「ほっとハウスやすらぎ」のみなさまと「田植え体験」を行いました。

この「田植え体験」は30年近く続いている行事です。参加者は裸足で田んぼに入り、泥の感触に歓声をあげながら、数本ずつ丁寧に苗を植えていきました。最初は泥に足を取られていた子供たちも地域の方々に教わりながら次第に慣れ、笑顔いっぱい作業を進めていました。世代や立場を超えて交流しながら農業に親しむこの取り組みは、地域ぐるみで進める食農教育の一環として続けられています。



（企画部）

ふくしま県GAP認定式を行いました



前列左から、坂内大志氏、神田忍氏（会津猪苗代カンダファーム）、大森佳幸氏（大森農園ミオカザロ）、新井田翔氏、後列左から、馬場所長、星野晋平氏・石井勝利氏（会津よつば農業協同組合みどり地区トマト部会GAP班）、山田英基氏（会津よつば農業協同組合みどり地区果樹部会柿部GAP班）

令和8年4月29日に、会津若松合同庁舎でふくしま県GAP（FGAP）認証書交付式を行いました。新たに認証を受けた4つの経営体と2つの団体を紹介します。

喜多方市の坂内大志氏は、アスパラガス栽培に取り組む経営開始4年目の新規就農者で、青果物（アスパラガス）で取得しました。経営規模の拡大に取り組んでおり、従業員の雇用環境の整備や将来的な販路拡大に取り組むため、GAPの認証取得を目指したそうです。

猪苗代町の会津猪苗代カンダファームは、水稻やそば、野菜等を生産する経営体で、穀物（米）で取得しました。様々な栽培方法を試行錯誤し、「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」で2年連続金賞を受賞しています。また、会津猪苗代福笑い研究会を設立し、県オリジナル品種「福、笑い」の作付けを始めます。

磐梯町の大森農園ミオカザロは、さつまいも栽培に取り組む経営体で、青果物（かんしょ）で取得しました。認証取得を契機に、磐梯町の農作物ブランド「磐梯さとやまの慧み」としてさつまいもを生産・出荷する予定です。また、藍の生産にも取り組んでおり、藍染工房を立ち上げ、体験教室の開催等も行っています。

会津若松市の新井田翔氏は、夏秋トマトやアスパラガス栽培に取り組む経営開始5年目の新規就農者で、青果物（トマト）で取得しました。会津農林高校、アグリカレッジ福島（県農業短期大学校）在学中からGAPを学んでいたことから、GAPにスムーズに取り組めたそうです。

会津美里町の会津よつば農業協同組合みどり地区トマト部会GAP班は、より適正な農場管理を行い、信頼性の高い産地（部会）をPRしたいと考え青果物（トマト）で取得しました。夏秋トマトの生産を行っており、6月から11月まで良質なトマトを生産しています。

会津美里町の会津よつば農業協同組合みどり地区果樹部会柿部GAP班は、より適正な農場管理を行い、信頼性の高い産地（部会）をPRしたいと考え青果物（かき）で取得しました。会津地方で伝統的に栽培されている「会津みしらず柿」を生産し、国内のみならずカンボジアやタイなど輸出にも取り組んでいます。

今回の認証取得を契機に、安全・安心な農産物生産の模範として、今後益々活躍されますことを期待しています。

（農業振興普及部）

福島県農林水産部

公式YOUTUBEチャンネル「1400のネタバラシ」配信中



福島県会津農林事務所SNS・あいづ"まるごとネット"SNS 更新中



X(旧Twitter) Instagram



X(旧Twitter) Instagram

【ご意見・お問い合わせ】

福島県会津農林事務所

企画部地域農林企画課

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号（会津若松合同庁舎2階）

☎（0242）-29-5369 FAX（0242）-29-5389

